

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和03年03月12日

計画の名称	快適で安全な魅力ある住環境の創出												
計画の期間	令和03年度 ～ 令和07年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	富士市												
計画の目標	<p>新富士駅南地区は、富士市の拠点に相応しい良好な市街地の形成と住民生活の向上、定住人口の増加を図りつつ、併せて駅前商業地域について、市民・観光客等の交流による賑わいを創出する上で、計画的かつ効率的な街区整備のもと、魅力的な施設の立地誘導を図る。</p> <p>また、第二東名IC周辺地区土地区画整理事業では、新東名新富士IC周辺の利便性を活かし、富士市の産業の活性化・雇用の促進を目的とした物流団地の稼働に必要な基盤整備を行う。</p>												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	4,743	A	4,743	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R3当初)	中間目標値 (R5末)	最終目標値 (R7末)
1	<p>事業地内商業地域内の宿泊施設における観光・ビジネス客を含む宿泊者数の増加</p> <p>事業地内商業地域内の宿泊施設(客室数)における宿泊者数</p> <p>宿泊者数(人/年) = 客室数(室) × 稼働率(%) × 365日 ※稼働率65%(市内の過年度実績)</p>	93739人/年	人/年	107000人/年
2	<p>富士市の産業の活性化及び雇用の創出に寄与する新富士IC周辺における工業・物流団地の稼働率の増進</p> <p>新富士IC周辺の工業・物流団地(富士山フロント工業団地・新富士インター物流団地)について、基盤整備の結果として実際に稼働を開始した面積の全体面積に対する割合を算出する。</p> <p>工業・物流団地の稼働率(%) = (稼働済面積) / (工業・物流団地の総面積) × 100</p>	95%	%	100%
3	<p>新富士駅南口から国道1号バイパスへ流入する車両交通時間の短縮</p> <p>新富士駅南口から国道1号バイパスへ流入する車両交通時間を平均で30%短縮させる</p> <p>現況平均流入時間5分 × 70% = 目標流入時間3.5分</p>	5分	分	4分

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市区町村名/港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況
												R03	R04	R05	R06	R07			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	富士市	直接	富士市	—	—	新富士駅南地区土地区画整理事業	都市再生区画整理 A=29.2 h a	富士市	■	■	■	■	■	1,200	1.18	—
											小計						1,200		
道路事業	A01-002	街路	一般	富士市	直接	富士市	区画	改築	新富士駅南地区(都)田子浦往還通り線外)	区画整理 A=29.2 h a	富士市	■	■	■	■	■	3,034		—
	A01-003	街路	一般	富士市	直接	富士市	区画	改築	第二東名IC周辺地区(都)未広線外)	区画整理 A=45.0 h a	富士市	■	■	■	■	■	509		—
											小計						3,543		
											合計						4,743		

# 事前評価チェックシート

計画の名称： 快適で安全な魅力ある住環境の創出

事前評価		チェック欄
I. 目標の妥当性		
①基本方針・上位計画等との適合等	1) 基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性		
①基本方針・上位計画等との適合等	2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性		
③目標と事業内容の整合性等	1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性		
③目標と事業内容の整合性等	2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性		
③目標と事業内容の整合性等	3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性		
④事業の効果	1) 十分な事業効果が期待できる。	○
III. 計画の実現可能性		
⑥円滑な事業執行の環境	1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性		
⑥円滑な事業執行の環境	2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R03	R04			
配分額 (a)	299	276			
計画別流用増△減額 (b)	6	0			
交付額 (c=a+b)	305	276			
前年度からの繰越額 (d)	0	6			
支払済額 (e)	299	282			
翌年度繰越額 (f)	6	0			
うち未契約繰越額 (g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考様式3)

### 社会資本総合整備計画 参考図面

